

産業界活性化協力協定締結式 ふるさと漁産品協定締結式



手づくり絵本で歴史を紹介



伝統芸能『棒踊り』奉納

歴史がつむぐ過去と現在 『荒佐野』の地で協定締結

10月24日（火）、野方地区活性化センターにおいて、大阪府泉佐野市と『歴史のご縁が結ぶ地域産業活性化協力協定締結式・ふるさと逸品協定締結式』が執り行われました。

この協定は、歴史的なつながりを今後も大切にするために、また、相互に地域産業の活性化策やふるさと納税に関する相互協力に関する位置づけを明確化することにより、互いにアイデアを持ち寄り共に発展を目指すために締結されました。

はじめに、町教育委員会の文化財担当者より手作りの絵本を用いて荒佐野移住の歴史を振り返り、その後、荒佐野親和会による活動紹介が行われました。また、野方地区の伝統芸能『棒踊り』が野方小学校児童により奉納されるなど会場は厳かな雰囲気になりました。

千代松 大耕 泉佐野市長は、「先祖同士のつながりに

歴史的な縁を感じます。今後、より一層の相互協力を行っていきたい。」と話しました。

最後は泉佐野市の特産品『泉州タオル』が寄贈され、公式キャラクター『イヌナキン』より児童らへ配られました。



歴史のご縁とは

荒佐野の地は、江戸時代5代将軍徳川綱吉の幕政になじめない旧豊臣の家臣を中心とした大坂の人々が、新天地を求め佐野浦（現在の泉佐野市）から薩摩の大崎郷（現在の大崎町野方地区）に移住し、多くの土地を開墾し、大崎郷の人々は荒野を開墾したことに感謝し、その土地は『荒佐野』と呼ばれ、大隅の中でも最も肥沃な畑地の一つとして発展しました。

無投票再選

5期目スタート



任期満了に伴う大崎町長選挙が平成29年11月28日（火）に告示され、現職の東靖弘町長以外に立候補の届け出がなく、無投票再選となりました。

12月4日（月）、役場応接室において、当選証書授与式が行われ、大崎町選挙管理委員会 川口勝久委員長より当選証書が手渡されました。東町長は、「町民の皆さまの温かい支援を胸に誠心誠意務めていきたい。」と5期目の抱負を話されました。